



# 湯田小学校だより



令和4年(2022年)  
11月号  
山口市立湯田小学校

## 「まもるいのち ひろめるぼうさい」～湯田小防災ウィーク～

以前、福島県の中学校の先生とお話をする機会がありました。その先生は、「学校には、防災グッズや防災食品が備蓄されているし、防災バッグはどの家庭にもあります。」と言われていました。山口県は比較的災害の少ない場所と言われているからでしょうか、福島県の先生の話聞いて、山口県民は防災意識が低いのではないかと感じました。災害が少ないからといって、備えをしなくてよいという訳ではもちろんありません。「一人ひとりの大切ないのち」を守るために、災害とどのように向き合えばよいのか考えてもらおうと、10月3日(月)から7日(金)までを「湯田小防災ウィーク」と位置づけ、防災について考える1週間としました。

各学級では、日本赤十字社が作成した防災学習教材を活用して学習をしました。低学年「地震災害」中学年「災害に備える」高学年「災害の経験から」という学習テーマです。いくつか感想をご紹介します。

### 2年生の感想 「地震の防災学習で考えたこと」

道にいたときには、ランドセルで頭を守ったらいいと思いました。家にいるときには、家具の近くにはいかないようにした方がいいと思いました。学校にいるときには、先生のお話をよく聞いて行動したりすると思いました。



### 6年生の感想 「東日本大震災を経験した小学生の話聞いて」

私たちと同じ小学6年生の皆さんが、大震災の後、たくましく復興に向けて協力している姿が印象に残りました。私が同じ経験をしてもしあのようにできないかもしれないので、すごいと思いました。

いつ起こるか分からない自然災害に備えることや、起きたときにどう行動すればよいか考えることは、小さい頃から必要なことです。もちろん、恐怖心を与えてしまっは逆効果です。年齢に合わせた防災教育を行うことが大切です。

JRC委員会の児童による「防災小話」も給食時の放送で実施しました。そのひとつに「人災」の話がありました。人が起こしてしまう災害です。学校の中でも「廊下を走っている人とぶつかって怪我をする」などの人災は起きます。人災は、防ぐことのできる災害とも言えます。さまざまな視点で「防災」についてみんなで考えることが安心・安全に過ごすことのできる学校・地域づくりにつながると思います。ぜひ、ご家庭でも防災について話題にされてみてください。(文責:防災ウィーク担当)



防災ウィークに関連した校内掲示

### 12月の主な予定

21日(水)個人懇談①

22日(木)個人懇談②・給食終了

23日(金)終業式